



\*1201100596486\*



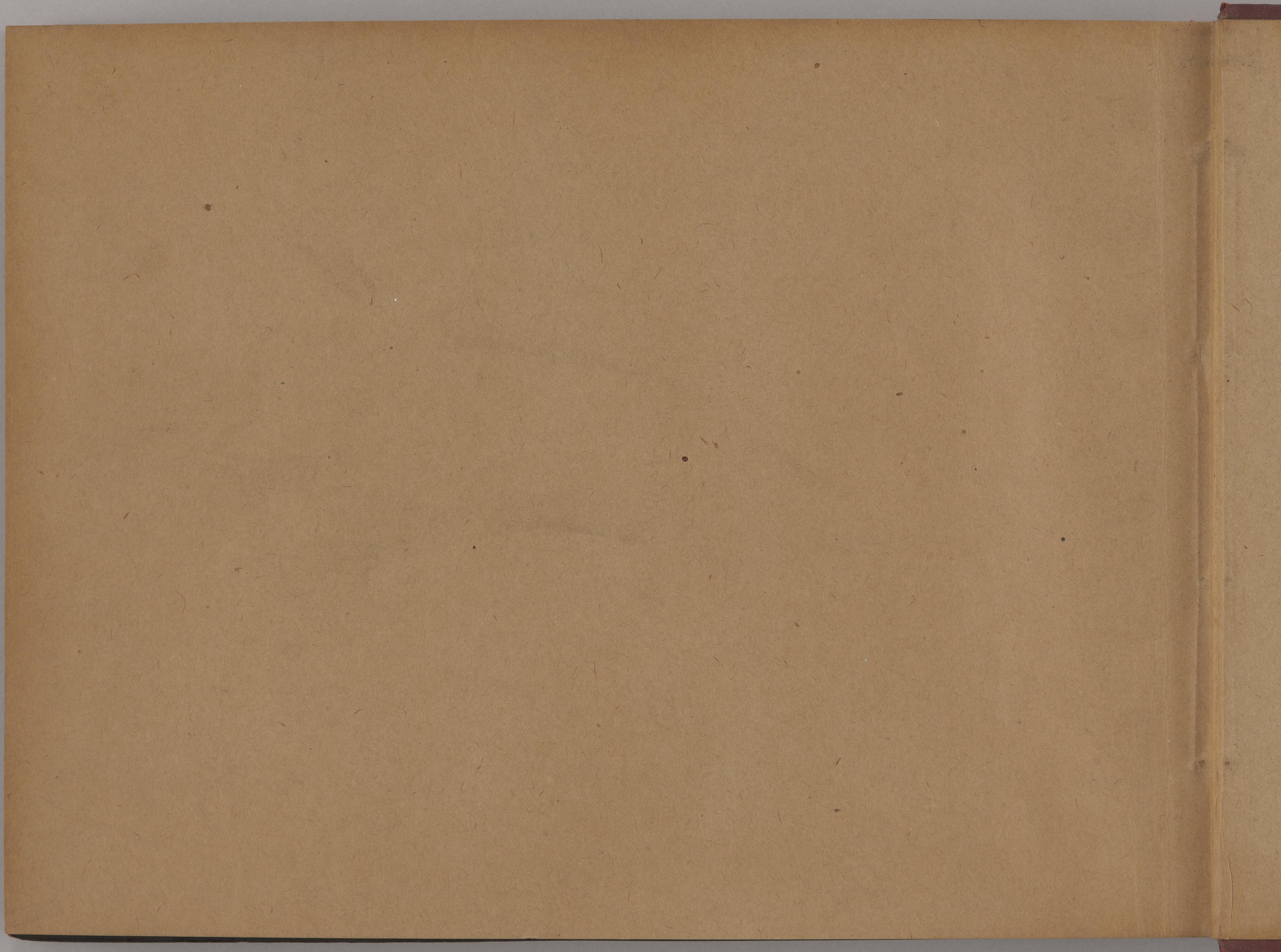
禁電子式複写



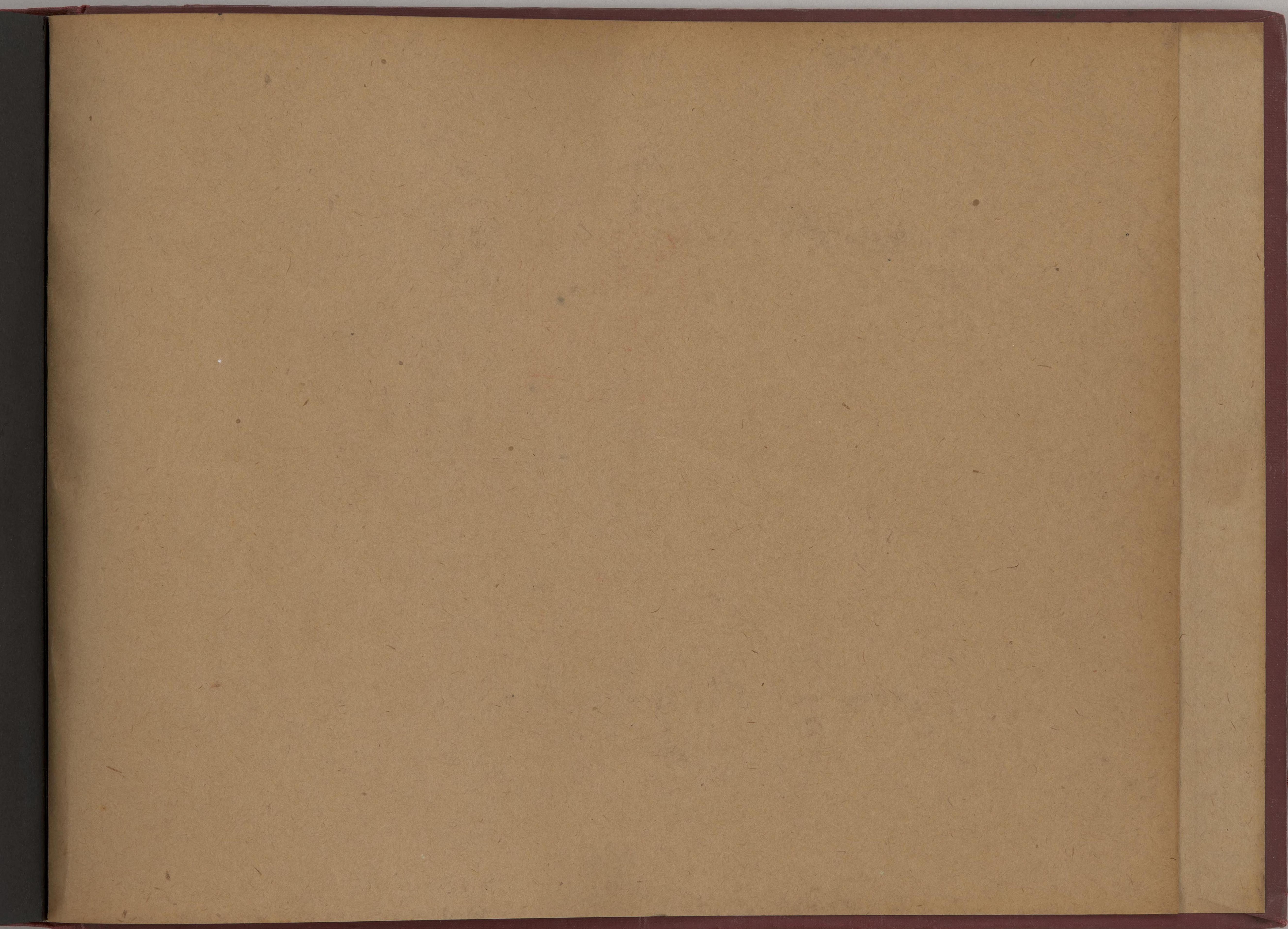


















同盟寫眞

内地三三〇六

第四十五號

◎藤原邸の伊使節招待

(東京)十三年四月一日

伊使節團一行は一日午後一時半から芝區白金  
今里町一二一萬國博覽會長藤原銀次郎氏邸の招  
待午饗會に出席した。列席者は近衛首相を始  
め廣田、杉山、米内、賀屋、吉野の各閣僚、  
小橋東京、青木横濱兩市長、澁城日銀總裁、  
大倉男等朝野の名士約七十名で非常な盛會で  
あつた。

寫眞は首相と握手の團長、左へ藤原氏、小橋  
市長







◎伊大使主催招待會

アウリツヂ大使主催の使節團招待リセプションは廿一日夜九時半芝三田の大使館で秩父、三笠兩宮殿下の台臨を仰ぎ奉り盛大に舉行された。







同盟寫真

内地ニユリス

第一二三號

◎秩父丸賑やかに入港

(東京) 十三年四月一日

船長父丸は東洋平和の聖戰に尊い犠牲とな  
 した戦傷兵慰問と在米同胞の熱誠なる感謝の  
 意を傳へんとする祖國愛に燃ゆる皇軍戦傷病  
 將士慰問團四組を始め戦勝日本の春を日かけ  
 た外人観光客七百九十八名と云ふ事變以來の  
 新記録を作つてホノルルから一日午前六時横  
 濱に入港した。







西遊感真 内地ニユキス

第一一四號

(東京) 三月十九日

去る二週間も早や過ぎてけふ一日は伊太利のま

る二週間も早や過ぎてけふ一日は伊太利のま

日使節團一行は、バンザイ、ナヨナラの

歡呼の裡に午前九時東京驛發ッバメ號で一路

關西への旅路に就いた。寫真は東京驛にて







同盟寫真

内地ニヨリス

第五十七號

◎オットセイの子供御目見

(東京) 十三年四月二日

樓の花も五分咲き、好天氣に恵まれて大賑の  
二日の朝上野動物園へ可愛いらしいオットセイ  
の幼供二頭がお目見得して海獣池の中を仲  
よく頭をなべて泳ぎ廻つてゐます。  
眞はお目見得のオットセイ







◎百里踏破の白嶽爺さん入京  
木銃をかついで「今の若い者に負けものか」  
と去る一日午前六時福島縣白河町の縣社鹿島  
神社前を出發東京まで百里徒步強行軍の壯途  
に上つた福島縣白河郡西郷村羽太の名勅男、  
獵師坂本彦作老（五五）は途中「晝夜百里傳  
令行軍」と書いた白嶽も勇ましくモンベ姿に  
三日分の食糧を背負ひ生の餅をかちりながら  
二夜を山中に野宿し三日午後七時頃東京に到  
着、四日朝七時陸軍省を訪れた後明治神宮に  
參拜皇軍の武運長久を祈つた。  
寫眞は明治神宮參拜の坂本老







向島集真

内地ニユリス

第一一三號

◎新任獨逸大使スタートメント

(東京) 十三年四月四日

新駐日獨逸大使オイゲン・オット少將は四日  
午前十時獨逸町區永田町の大(使館)において新聞  
通信記者團と會見、新任の挨拶を述べ談話の  
形式を以てスタートメントを發表した。  
寫眞は會見のオット少將於大使館







向 監 徳 眞

内地ニヨリ又

第一ノ五號

◎四萬の會員ヲ集婦人報國大會

(東京)十三年四月五日

全國婦人會東京聯合分會第二回總會は婦人報

國大會を兼ねて五日午前九時半から小石川後

樂園に舉行。總裁東伏見宮周子殿下台臨の下

に老若の會員四萬餘名ヲ集盛會を極めた

為眞は宮殿下の命令







一、真歲三唱の會衆

◎再燃國鐵疑獄公判

一世の視聽を築めた再燃國鐵疑獄の公判第一

日の五日その中心人物元鐵相内田信也氏(五

九)は午前八時同郷茨城選出飯村五郎代議士

に附添はれ裁判所に出頭した。

為眞は出廷の内田氏(左)と平松主任辯護士

(右) (於辯護士會館)











同島真 内地三二〇一又 第一五五號

◎秩父宮殿下國方博へ

(東京) 十三年四月六日  
秩父宮殿下には六日午前八時廿分山口少佐御  
帶同、上野の國防博へ台臨會場隅なく御巡覽  
あらせられた。

島真は國防博にて

◎稅務監督局長會議

事變特別稅其他新稅法は一日より實施されて  
るが大蔵省では六日より三日間地方稅務監  
督局長會議を開き稅務行政上遺憾なき準備を  
進めた。島真は賀屋藏相の訓示

◎練習艦隊出航

高須四郎少將の指揮する練習艦隊「磐手」  
八雲一兩艦は六日午前十一時春風にひるがへ  
る司令官旗を旗艦磐手の檣頭高くひるがへし  
横須賀軍港を出港した

寫真は米内海相の訓示(横鎮檢閱済)

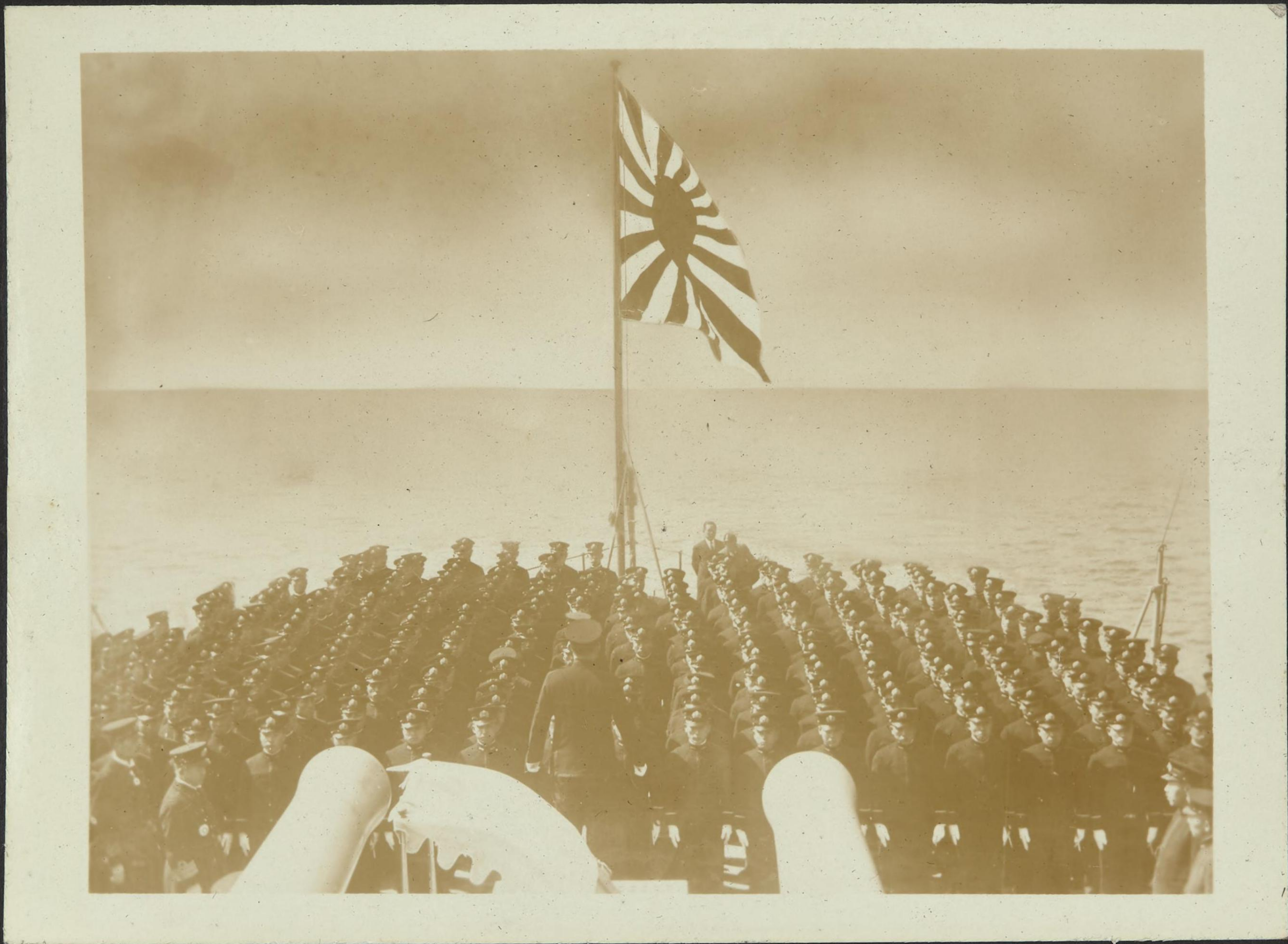
◎三笠宮殿下那須野へ

習志野騎兵第十五聯隊附騎兵中尉三笠宮殿下  
には旅團幹部演習御參加のため六日午前八時  
四十五分上野驛發那須野地方へ向はせられた  
寫真は上野驛にて

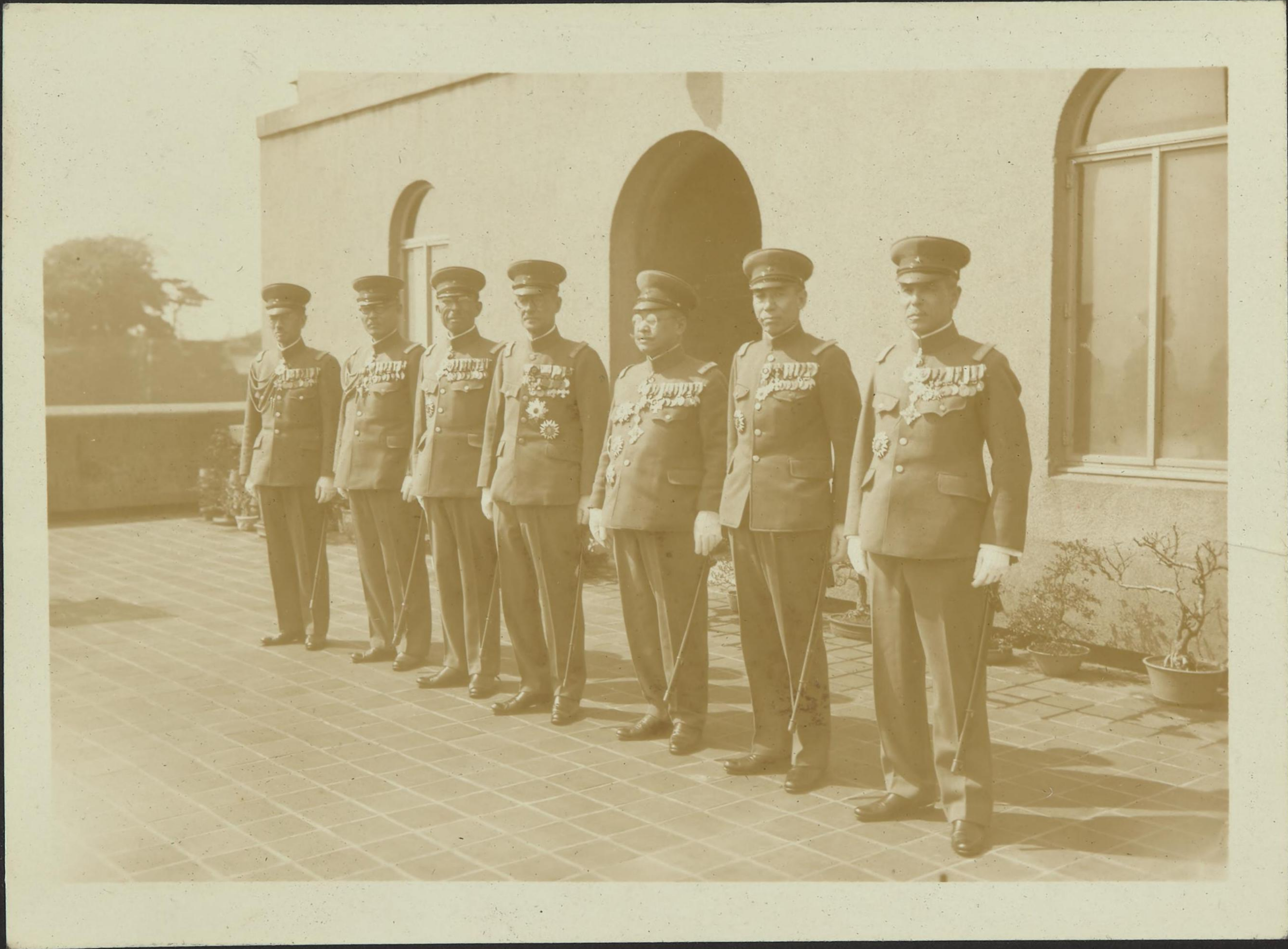
















同誌真眞

内地ニニス

第一四號

◎防空用消火ポンプ實驗

(東京)十三年四月七日

務省で委託試作中の防空用消防豆ポンプ九  
がこの程完成、七日午前十時から大手町舊  
憲兵司令部跡の濠端で放水其の他性能検査が  
行はれた。  
寫眞は性能試験



◎平和は觀光から北支要人入京  
新興北支から鐵道省國際觀光局が招聘した日  
本觀光視察團一行十七名は七日午前七時十分  
東京驛着列車で入京、北支新民會の眞黒なつ  
め襟服に長途の旅疲れも見えず各所を歴訪し  
た。寫眞は花束を受ける朱園長







◎大成丸芝浦に歸る  
永い南の海の航海を終へ陽焼けした海の男子  
等に乗せて東京高等商船學校練習船大成丸が  
七日午前十一時芝浦に三ヶ月振りて歸港した  
寫眞は歸港の大成丸







同監参真

海外ニユース

十三年四月八日

◎花祭りにも軍國調

恒例の花まつりは日比谷公園音楽堂で催され  
たが流石は事變下だけに花まつりも軍國調で  
嚴肅な遷佛式、<sup>一</sup> 級將士慰靈供養法要と云つ  
た具合に行はれた。  
寫眞は稚兒の行列







◎オートバイ上の射撃

(ベルリン) 發同盟

當地スタインスドルフ陸軍オートバイ部隊  
の競技會で人目を引いた疾走するオートバ  
イ上に於ける射撃の妙技







◎ 紙芝居コンクール

紙芝居が裏町の路地から大熱演始まる  
けふから大熱演始まる  
に昇格？する腕だゆしのコンクールが警視廳  
興行係の肝入りで九日から十六日迄日本橋の  
某デパートの八階で行はれた。  
寫眞は紙芝居コンクール







◎家庭學校の入學式

(東京)十三年四月九日  
 春の花と共にパツと咲いたうら  
 花嫁達の入學式！九日午後一時より警婦協會  
 家庭學校では同校講堂で第四回の入學式を舉  
 行した今年女學校を卒業した許りの十七、八  
 歳を筆頭に廿四、五歳迄の卅六名、校長の安  
 達謙藏氏夫人ユキさんは郷里熊本に旅行中で  
 校長代理の本田主事の訓辭、來賓代表生田花  
 世女史の豊富な体験談に乙女たちはひとみを  
 凝らしつゝちつと聽き入つてゐた。  
 寫眞はその入學式、本田主事の訓辭







同盟 一具真力地三才 才一四号

の畏と毛御書を全国に送

紀元二千五百年奉祝会総裁官奉戴式

東京市 昭和十一年四月十日

紀元二千五百年奉祝会総裁官奉戴式は畏と元

秩父官邸下を戴きし百五十年后 時より外花鏡持

に於ては諸団体より人参加の下に元官邸前(野)

行、秩父官邸下の御合には畏く北Aトの法廷に  
依るに全国には送すべし。

一具真力

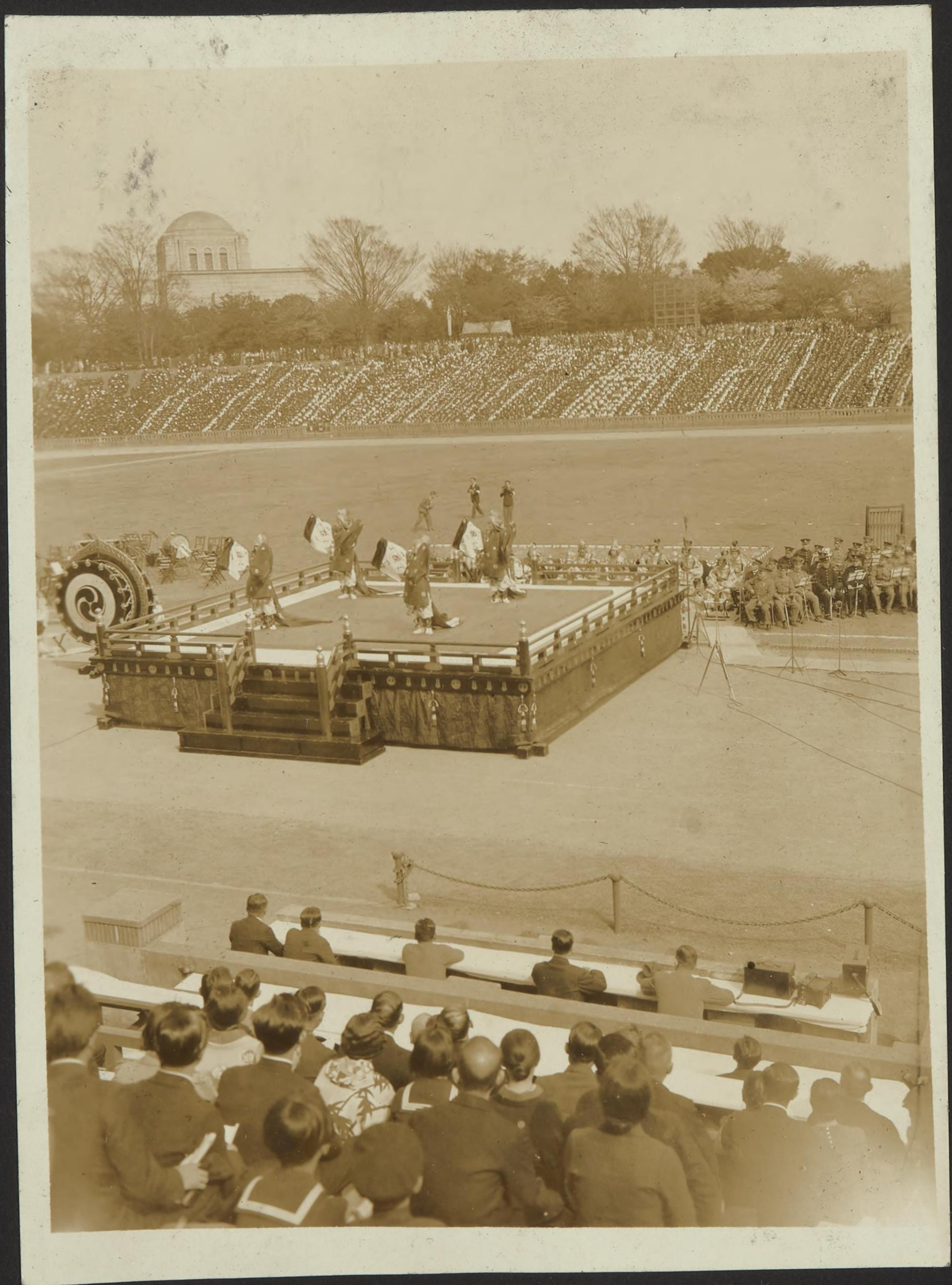
一秩父官邸下を戴きし百五十年后

一奉戴式を呈小











内閣録

内地ニヨリ

第一五號

◎昭憲皇太后祭明治神宮の式典

(東京)十三年四月十一日

昭憲皇太后祭の十一日は午前八時から明治神

宮に有馬宮司以下神職及び樂師參進、府下各

女學校、女子青年團聯合會の代表者等も參列

して嚴肅な祭典を奉仕した。

爲儀は一、神官の參入

一、女學生の參拜











向盤寫真

内地ニリス

第 一 四 號

◎梅谷大僧正御衣奉還

(東京)十三年四月十二日

畏くも天皇陛下の玉体安泰並に賢の御榮を  
 祈念して豫て京都延暦寺に於いて御衣御修法  
 を奉仕して居たが十一日嚴修を了へ天台宗座  
 主同寺管長梅谷孝永大僧正は御衣を擇じて十  
 二日午前八時東京驛着上京一旦淺草寺に奉安  
 午後一時宮中南溜間に於いて松平宮相を経て  
 奉還した。参内  
 寫真は淺草寺にて

◎帝大記念祝賀式

東京帝大記念日祝賀式は十二日午前十時から  
 大講堂に於いて盛大に行はれた。

寫真は

一、勅語捧讀

一、長與總長の訓示













同盟為真 内地ニユース 第五十七號  
◎聯合女子青年團十周年大會  
(東京) 十三年四月十二日  
東京聯合女子青年團は創立十周年を迎へた  
ので十二日午後一時三十分九段市立第一中  
學校に於いて小橋團長(市長)以下役員團  
員代表一千五百名出席、創立十周年記念大  
會を舉行した。為真は令旨捧讀



向島真

内丸ニユース

第一四號

◎海軍軍樂隊の父瀬戸口翁軍學表彰

(東京)十三年四月十三日

名曲一軍議マイチ一愛國行進曲一の名曲を  
二み全園津々浦々誇りやかな曲と共にその作  
家元海軍軍樂隊長瀬戸口藤吉翁の名が讃  
へられてゐる時海軍省では日本の武威を海外  
にまで發揚し海軍軍學普及に盡し國家に貢獻  
した功績は偉大であると十三日午前十一時瀬  
戸口翁を招いて表彰式を行つた。

寫眞は海相より表彰

◎傷兵保護院官制案可決

十三日の樞密院定例本會議は午前十時より宮  
中東瀨間に於て天皇陛下親臨のもとに開催、  
傷兵保護院官制案(政府修正案)他二案を上  
院可決。天皇陛下入御ありせられ同十一時散  
會した。寫眞は樞府會議に臨む木戸厚相

◎朝香宮殿下國防博御成

朝香中將宮殿下には等々力御附武官を随へさ  
せられ十三日午前九時上野公園に開催中の國  
防博覽會に御成り遊ばされた。

寫眞は國防博にて

◎税關長、專賣局長官會議

大藏省では十三日午前十時より本省會議室に  
税關長會議及地方專賣局長會議を開催した。

寫眞は蔵相の訓示











同盟島真

内地ニヨリス

第四十五號

◎新らしい貨幣圖案

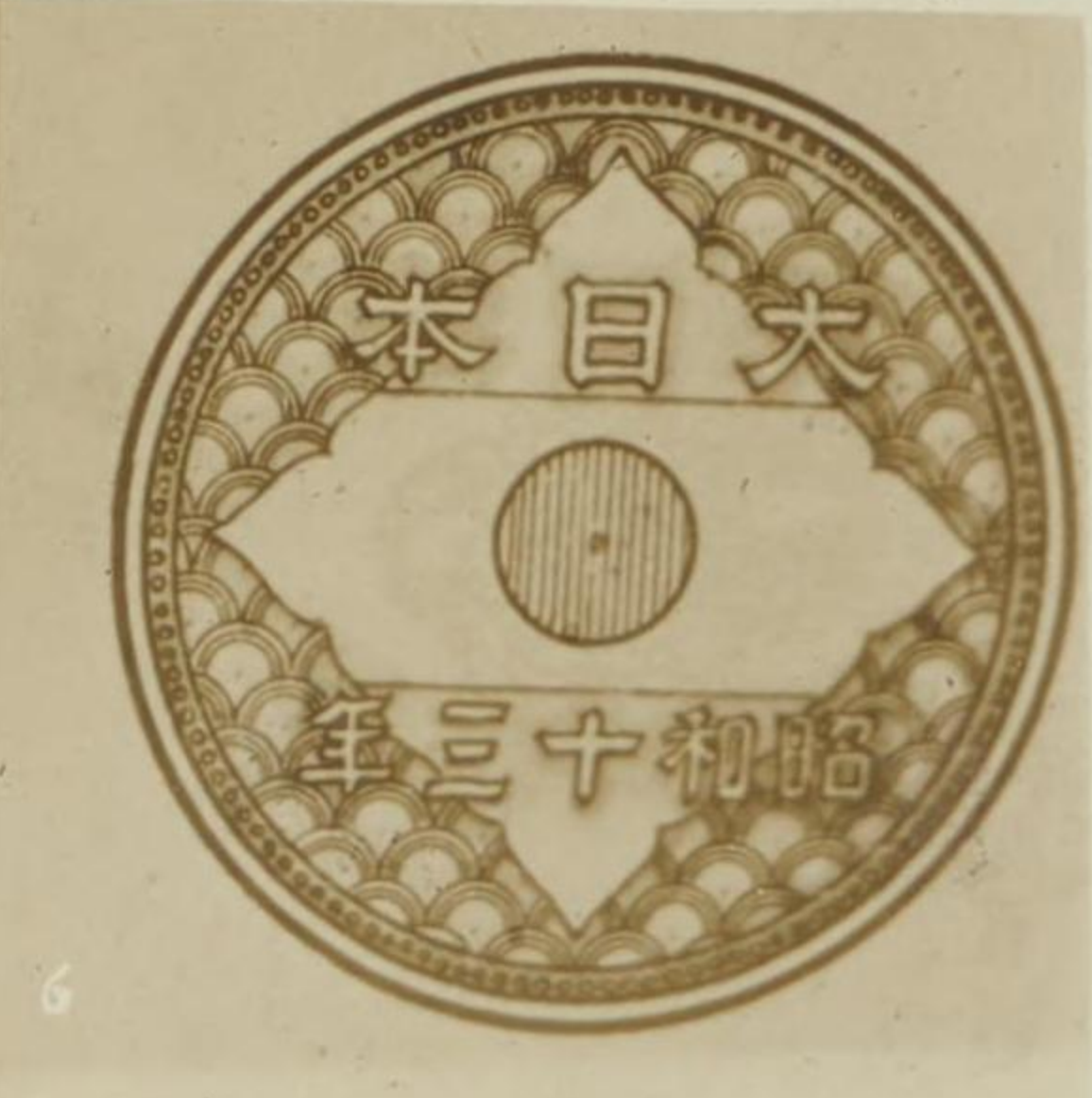
(東京)十三年四月十四日

大藏省ではアルミと銅だけで出来た十錢と五錢、鋤を含まず銅と亜鉛だけの一錢補助貨幣を出すこととなりその圖案を募集してゐたがこの程當選者を發表した。

眞は(1)有孔當選(2)無孔當選(3)有孔選外佳作一席(4)同二席(5)無孔選外佳作一席(6)同二席

◎自治式典に記念スタンプ







向盟寫真

内地ニヨリス

第一三號

◎伯林東京間大空輸

(東京) 十三平四月十四日  
 滿洲航空會社はドイツに於て最新鋭機ハイ  
 ケル一六型二機を購入した。が兩機輸送のた  
 めベルリン東京間空輸を行ふこととなり來る  
 廿三日兩機はベルリン出發、東京へ向ふ豫定  
 操縦者は龔に北アフリカのイタリヤ領リビヤ  
 周同飛行に参加した加藤敏雄、横山八男兩氏  
 外四氏と決定した。

島員はハイケル機









◎五月人形にも事変色  
 端午の節句近付くと共に街に空に五月の香り  
 を氾濫させてゐるが例年變り人形の現はれる  
 中にも事變を反映する人形飾り物等が多い  
 寫眞は海陸空三友人形と鐵兜飾  
 ◎厚生省新廳舎完成



同盟寫眞

内地ニヨリス

第一一四號

◎片翼の樫村板組立終る

(東京) 十三年四月十五日

去る十三日原宿の海軍館に運はれた名譽の樫村片翼板はその板組立作業中であつたが十五午前に至つて中断された片翼に凝結なる奮闘の跡を物語つて組立を完成、貴重なる實戰資料の一つとして片翼の姿そのまま永久に保存することになつた。

寫眞は一、海軍館に組立成つた片翼機

一、樫村機奮闘の跡を描いた圖面(海軍省發表)

◎大日本蠶糸會總會

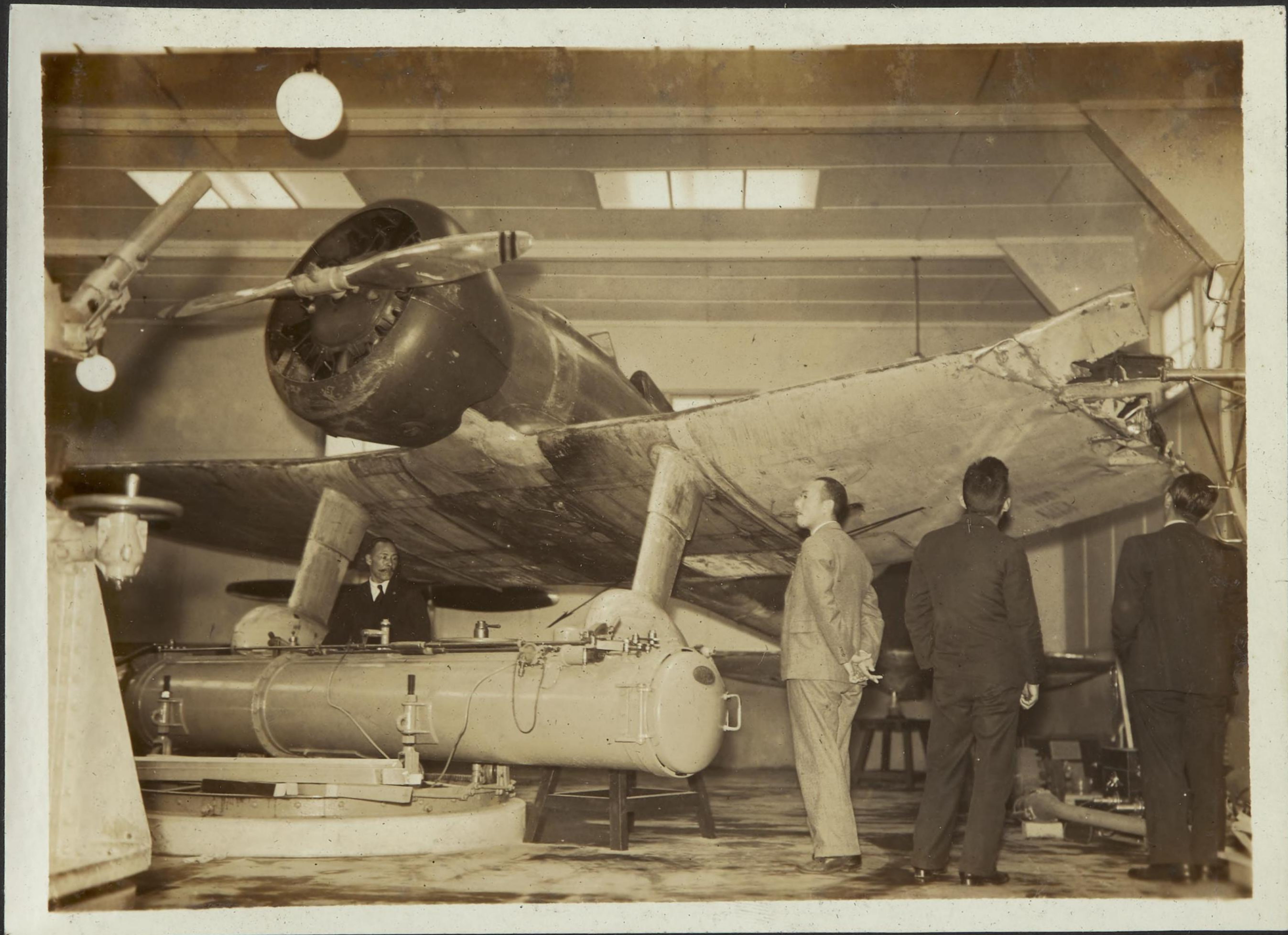
大日本蠶糸會第卅三回總會は十五日午後一時五十分から開院總裁宮殿下の台臨を仰ぎ蠶糸會館に於て開催された。

寫眞は開院總裁宮殿下の令旨

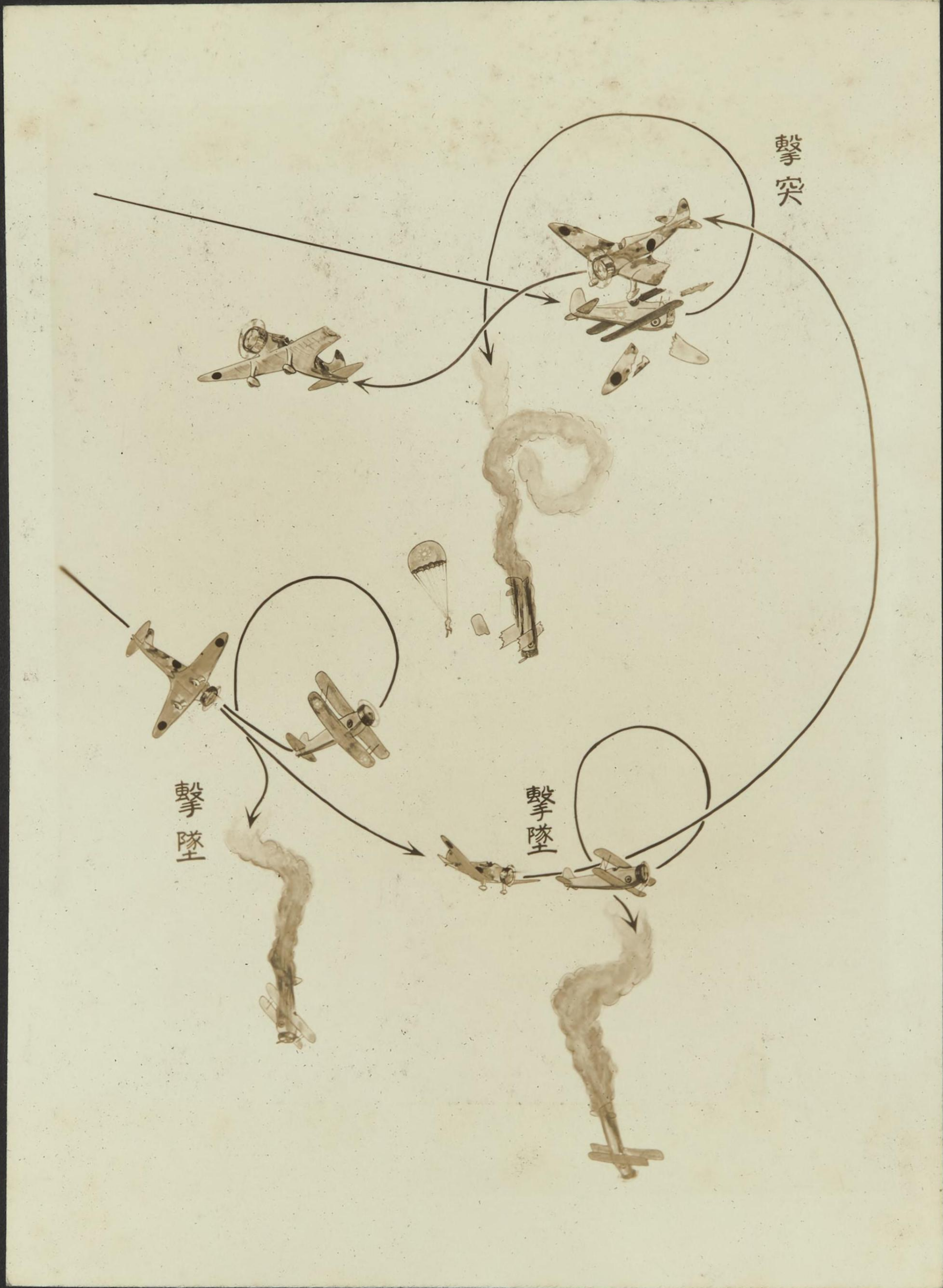














同盟寫真

内地ニユリス

第一四號

◎順宮様春の御遊足

(東京)十三年四月十六日

女子學習院前期二年に御進級遊はした順宮様  
には十六日御學友五十余名と御揃ひで稻田登  
戸方面に御遠足遊ばされ花盛りの桃、青々と  
伸びる麥畑、深みゆく春の窓外を賞でさせら  
れた。









◎六大學野球開幕  
花曇りの四月珍らしく晴れ上つた十六日、待望  
の六大學野球春季リーグ戦も高らかに球春譜  
を告げ華麗な入場式、終つて明帝第一回戦は  
開幕された。寫眞は一、壯嚴な入場式  
一、明帝第一回戦第一回表帝大野村内野ゴロ  
で一壘に刺さる







同盟 一馬真力地三丈 オーイ号

①輝く自治制半周年記念式典

東京の昭和十一年四月十七日

長と毛天宮陛下の親臨を仰ぎ奉り全国二万四千  
の地方者は早めつゝ自治制発布半周年記念式  
典は十七日午前十時半より宮城前広場迄於て  
此の世帯に演説を承る。

一、長くは勅語を賜ふ

一、表彰式全呈小

一、日比谷公園に於ける祝賀会(右より吉野園相水  
野澤太郎子末次内相より前小橋市長)













同盟寫眞 内地ニコリス 第一一六號  
 ◎海の使節クツコリイ 號入港  
 (東京) 十三年四月十八日  
 盟邦イタリより海の日使節極東艦隊モ  
 リテクツマリ一號はバ侯一行の退京と入れ代  
 りに十八日午前九時春の陽を一杯に受け横濱  
 港外に凱爽と勇姿を現はした。  
 寫眞は入港の伊艦(上)と金太郎の人形を受  
 けるザマル艦長(下)と  
 一、海軍省訪問(左) 艦長(右) 海相





◎伏見宮博義王殿下御凱旋  
御奮戦八ヶ月余、孫々たる御武勳を樹てさせ  
られた第〇〇願遂艦隊司令海軍中佐伏見宮博  
義王殿下には十八日午前十一時十八分東京驛  
着御歸還遊ばされた。  
寫眞は官家御玄關にて謹寫



同盟寫眞

内地ニユース

第一一四號

◎再び帝都を彩る伊太利色

(東京)十三年四月十九日

帝都を再び伊太利一色に塗りつぶして盟邦伊太利軍艦モンテクッコリ號乗組員が十九日坂爽と帝都を訪れた。九時卅分靖國神社參拜のザイラ艦長は恭々しく花輪を捧げた。畏くも天皇陛下には伊太利極東艦隊旗艦モンテクッコリ號艦長アルベルト。タ。ザイラ大佐等に對し十九日午前十時半宮中鳳凰間に於いて謁見仰付けられた。

寫眞は

一、東京驛着

一、艦長以下靖國神社參拜

一、艦長等謁見











◎ヒトライ氏に國粹黨から贈物

(東京) 十三年四月廿日

ヒットラー氏が中歐の一角ブラウナウ。アムイ  
ンに叫々の聲を上げた二十日誕生祝に相應しい  
贈物が大日本國粹黨から獨乙大使館へ届けられ  
た。寫眞はヒトライにレリーフ贈呈式

◎遞信記念日勤績者表彰

廿四萬の遞信従業員が待望の遞信記念日は二十  
日本省始め全國各遞信局で盛大に行はれたが本  
省では午前十時から省内大會議室で記念式を行  
つた。寫眞は表彰式

◎大同學院學生口出發

去る十五日日本青年館に集合して以來東京見學  
視察を行つてきた滿洲國大同學院學生恒吉秀雄  
部長以下百九名の一行は廿日午前十時四十五分  
東京發列車で離京歸國の途についた。

寫眞は東京歸にて

◎建國大學新入生出發

滿洲國新京に新設された建國大學第一回生とし  
て約七千の志願者中から嚴選された晴れの内地  
人學生五十四名は五月二日の開學式も間近い廿  
日午前十時希望に面を輝せ各所歴訪の後午後十  
時卅分東京發多ことがれの大陸に向け鹿島立つ  
た。寫眞は官城進拜の一行

◎丸山萬博使節出發

皇紀二千六百年の萬博に中南米諸國の贊同を求  
めるため萬博招請使節として出掛ける丸山鶴吉  
氏の一行は郵船日枝丸で鹿島立つた。  
寫眞は丸山使節(右)と市川氏(左)日枝丸にて















◎茅屋

に亡き部下を訪はせ給ふ

廿日午前部下の三傷兵を横須賀海軍病院にお  
見舞ひあそばされた伏見宮博義王殿下には更  
に同日午後二時半軍艦〇〇艦上にて殿下が名  
譽の御戦傷を負はせられた御砌敵弾のため重  
傷を負ひ去る二月廿七日遂に戦死した部下の  
稲本實一等水兵の川崎市上小田中一七二五の  
實家を親しく御弔問あらせられた。

寫眞は御弔問の伏見宮殿下











同盟寫眞

内地ニコリス

第一一四號

◎秩父宮殿下の台臨を仰ぎ

萬博總裁奉戴式

(東京)十三年四月二十一日

皇紀二千六百年を記念し世界文化の粹をあつめ同時に日本文化を世界に顯揚せんとする日本萬國博覽會の秩父宮殿下總裁奉戴式は新緑もゆる廿一日午後二時から日比谷公會堂の式場に於て秩父宮殿下の台臨を仰ぎ盛大に舉行された。寫眞は令旨を賜ふ秩父總裁官殿下

◎照宮様御遠足

照宮様には學生の御資格にて廿一日女子學習院中期三、四年生の春の遠足に御參加、埼玉縣比企丘陵地方に成らせられた。寫眞は照宮様

の  
令  
木  
學  
維  
大  
將











月里寫眞 内地ニキース 第一一七號

◎久々近衛首相を迎へて定例閣議

(東京) 十三年四月二十二日

久々に近衛首相を迎へた廿二日の定例閣議は

午前十時卅分首相官邸に開催、末次内相、賀

屋藏相、鹽野法相、永井遜相を除き各閣僚出

席勞頭近衛首相一場の挨拶をなし次で杉山陸

相の戦線視察報告があつた。

寫眞は閣議に臨む首相、陸相

◎ザラ艦長に勳章傳達

伊太利海軍の使節クツコリ、艦長ザラ大佐

に對する勳章傳達式は廿二日正午海軍省大臣

室に於て行はれた。寫眞は山本次官より傳達











同盟寫眞

内地ニユース

第一一五號

◎靖國神社行幸豫行

(東京) 十三年四月二十三日

護國の英靈を合祀する靖國神社臨時大祭は廿四日から廿八日まで駭かに舉行されるが天皇陛下には廿六日長くも御親拜遊ばされるので廿三日午前十時卅分その豫行を演習しなが大祭を前の同境内は遺族一般參拜者の群れ多く早くも賑ひを呈してゐる尙ほ委員長大角大將は大祭に際しトキトキに入つて所感を述べた寫眞は一行幸豫行一、トキキに收ま

る大角大將一、早くも集つた遺族達











同盟 鳥具力地三ノ一ノ一ノ

（清島聖堂孔子祭）

（東京）昭和十一年四月二十四日

ハ三土聖孔子祭には本郷清島聖堂に於て之  
士曰午剛九時より参列者約四百人参集盛大  
に執り行はれり。

一鳥具は一徳川会長が考案

の英蓮蓮神鎮の日精園神社の賑ふ

兼洋手札のなかに起つた日精園日本の貴は使命  
を担ひ大陸の戦野に復國の志を掲げたるが事  
亦その事四百五十三社の英蓮蓮の永久に神鎮  
る全祀の全典日精園神社臨時大會が一日の事は  
は神鎮の心を存存引きも抑ふるにその賑ふを  
呈してゐる。

一鳥具は

一、清島神社の賑ふ











同盟寫眞

内地ニユース

◎奉拜者相つぐ靖國神社

(東京)十三年四月廿五日

獨志の雄魂永久に神鎮まり臨時大祭第一日の

御儀が執り行はれた廿五日の靖國神社は護國

の英靈に天もまた淨き涙をそぐが如く未明

から音もなく降り出した春雨は櫻若葉をぬら

して神域一帯は肅として壯嚴いや増すばかり

である。寫眞は一、勅使參向一、在京部隊

參拜一、遣族の昇殿參拜一、招魂式に參

列する遣族

◎中央物價委員會第一回會議

物價抑制策村立のため設立された中央物價委

員會の第一回會議は委員の初顔合せを兼ねて

廿五日正午より東京會館に開催。會長吉野商

相以下官民委員廿五名全員出席した。

寫眞は吉野商相の挨拶















同盟寫眞

内地ニニス

第一一六號

◎勇士の遺前に一分間の御黙禱  
畏れ 聖上靖國神社行幸

(東京)十三年四月二十六日

天皇陛下には麗らかに空晴れて若葉薫る廿六日  
長くも九段靖國神社の臨時大祭に行幸遊ばされ  
殉忠の英靈に御親拜あらせられた

寫眞は

- 一、天皇陛下御親拜
- 一、参列の各大臣
- 一、奉拜の遺族に鹵簿御除行



